

どの子も かけがえのない 大切な一人ひとり

7月3日に「いじめについて考える日」として全校朝会を行いました。
この日を迎えるにあたり、子どもたちがいじめについてどうとらえているのか、事前にアンケートをとりました。以下、子どもたちが書いたことをまとめてみました。

1. 「いじめ」とは、どういうことをすることだと思えますか。

○相手が「いやだ」と思うことをすること

- ・悪口をいう ・無視をする ・たたいたりけったりする ・仲間はずれ
- ・ばかにする ・失敗を笑う ・ちょっかいやいじり ・ものをかくす
- ・「やめて」と言ってもやめない・いじめられている子がいても見ていないふりをする など

2. なぜ「いじめ」をしてはいけないと思えますか。

- 自分がされたいやだから ○だれかがまねしてしまうから
- 相手がいやな気持ち 悲しい気持ちになるから ○相手の心を傷つけてしまうから
- 傷ついた心はなおらないから ○相手の気持ちを尊重していないから
- 学校に行ったり、友達に会ったりすることがこわくなってしまうから
- いじめられている人もそのお母さん（家族）も悲しむから
- いじめを受けた人の命に関わることになってしまうかもしれないから など

3. みんなが楽しく安心して生活できる桜尾小学校にするために、

あなたはどんなことをしたいと思えますか。

- 悲しい気持ちになった人がいたらなくさめる 声をかける 話を聞いてあげる
- 「そんなことしたら相手がかなしむよ」といってあげる
- 自分はぜったいにやらない ○先生や近くの人に言う
- 心があたたかくなる言葉をかけ合う ○みんなとなかよくする
- だれにでもやさしくする ○毎日みんなで元気にすごす
- みんなで協力したり助け合ったりする ○「さん付け」で名前を呼ぶ
- 誰に対しても同じように話したり遊んだりする ○一人の子がいたら誘ってみんなで遊ぶ
- みんなで仲良く全員が楽しめるような遊びを考えていっしょに遊ぶ など

いじめを抑止するためには、相手の気持ちを想像し思いやる心を育てることが大切だと考えます。

アンケートに書かれた言葉には、人の心の痛みやつらい気持ちに共感できるやさしさがあふれており、桜尾の子どもたちの中に、思いやりの心が確かに育っていることが感じられました。

全校朝会では、「49人どの子も、かけがえのない大切な一人ひとりであること」、「困ったことがあったら、自分にとって一番話しやすい人にまず相談すること」そして、「みんなでいっしょに、楽しく安心して生活できる桜尾小学校をつくっていくこと」を子どもたちと確かめました。

これから夏休みに入り、子どもたちが家庭で過ごす時間はいつもより多くなります。この機会に、各ご家庭でも今回の内容について話題にしていただくことが、いじめを抑止するための大きな力となります。保護者・地域の皆様と連携し、子どもたちの心身の健やかな成長を支えていきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

